

平成27年 9月30日開催

石狩市教育委員会会議（9月定例会）資料

<協議事項>

- ・教育委員会の点検・評価（平成26年度分）について 別冊

<報告事項>

- ・平成27年度石狩市教職員研修「サマーセミナー」の実施結果について
. P 1
- ・平成26年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の
一部見直しについて（いじめの再調査） P 2
- ・平成27年度「俳句のまち～いしかり～」俳句コンテストの実施結果について
. . . P 3～P 4

石 狩 市 教 育 委 員 会

<報告事項 ①>

平成 27 年度石狩市教職員研修「サマーセミナー」の実施結果について

1. 期 日 7月28日（火）・29日（水）・30日（木）、31日（金）、8月4日（火）・5日（水）
の6日間、11講座
2. 会 場 石狩市総合保健福祉センター「りんくる」他
3. 受講人数 教職員数 420人（講座定員数：490人） 受講者実数 363人（延べ382人）
受講率 86.42%（※H26 82.3%）

4. 各講座別受講数

日 付		内容・講師	定員	受講人数
7月28日 （火）	午前	【内容】石狩の歴史ヒストリア 【講師】石狩市教育委員会 文化財課長兼社会教育次長付参事 工藤 義衛	30人	32人
	午後	【内容】校内における感染予防について 【講師】東京サラヤ株式会社サニテーション事業 本部 食品衛生サポート部 佐藤 元洋 氏	50人	53名
7月29日 （水）	午前	【内容】構成的グループエンカウンター ～理論と演習、Q-Uの活用と合わせて～ 【講師】石狩市教育委員会 青少年育成支援アドバイザー 古原 祥子	50人	26人
	午後	【内容】構成的グループエンカウンター ～理論と演習、Q-Uの活用と合わせて～ 【講師】石狩市教育委員会 青少年育成支援アドバイザー 古原 祥子	50人	26人
7月30日 （木）	午前	【内容】学校での危機管理 ～エビペンの使用、熱中症・誤嚥の対応 【講師】石狩市学校薬剤師 中谷 純一 氏、木村 由記 氏 石狩北部地区消防事務組合 高井 篤 氏、中島 正行 氏	50人	48人
7月31日 （金）	午前	【内容】体力向上を目指す授業づくり 【講師】アクト・スポーツプロジェクト 寺島 聖人 氏、林 真弘 氏	30人	32人
	午後	【内容】道央の物流拠点 石狩湾新港 【講師】石狩湾新港管理組合	30人	33人
8月4日 （火）	午前	【内容】子どもを理解するために ～授業に生かす特別支援教育 【講師】北広島市立北の台小学校教諭 村田敏彰 氏	50人	28人
	午後	【内容】ネットトラブル防止のための授業作り ～情報モラル教育のために 【講師】LINE（株）政策企画室 CSR推進チーム 松竹谷 尚子 氏	50人	49人
8月5日 （水）	午前	【内容】手話の世界と石狩市手話条例 【講師】石狩聴力障害者協会会長 杉本 五郎 氏 石狩市保健福祉部障がい支援課 主査 鈴木 昌裕 氏	50人	22人
	午後	【内容】朝読だけではもったいない！ 家読（うちどく）へつなげよう 【講師】前千歳市立千歳北陽小学校長 池川 良一 氏	50人	33人

※受講人数は、実際に当日受講した人数を示しています。

<報告事項 ②>

平成 26 年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の一部見直しについて（いじめの再調査）について

1 経緯

文科省は、岩手県矢巾町で中学 2 年生が自殺した事案を受け、いじめとして認知されず、組織的な対応がなされていない事案がないか、また、都道府県によっていじめの認知件数に差が大きいことが実態を正確に反映しているとは考え難いといったことを看過できない課題とし、H26 年度の調査内容を再度精査して認知漏れがないか緊急の点検をするよう都道府県教育委員会等に依頼した。

2 方法

「いじめの認知に関する考え方」「見直しにあたり留意すべき点」を示し、H26 年度調査における「アンケートによりいじめがあったと答えた児童生徒数」を再度点検した。

3 期間

平成 27 年 8 月 25 日～9 月 4 日

	H26 年度調査の結果		再調査の結果
区分	アンケートにより いじめがあったと 答えた児童生徒数	認知件数	新たな認知件数
小学校	199	12	0
中学校	44	1	0
計	243	13	0
備考		認知した「いじめ」については、すべて解消済み	

<報告事項 ③>

平成 27 年度「俳句のまち～いしかり～」俳句コンテストの実施結果について

1. 主催 NPO法人石狩市文化協会
2. 企画・運営 「俳句のまち～いしかり～」実行委員会

第 11 回俳句コンテスト（一般の部）

- ・応募数 272 句、136 名（市内 66 句、33 名）（前年度 270 句、135 名）
- ・兼 題 「夕陽」及び自由題
- ・選 者 小西 龍馬 氏（北海道俳句協会顧問）、横山 いさを 氏（俳誌「^{もみ}樅」代表）

天位（最優秀賞） 望来の夕陽ふくらむ花野かな 石井 国夫 （岩見沢市）

地位	石狩の河幅豊か夕陽抱く	池田 栖歩	（福島町）
	つなぐ手も繋がれる手も夕焼て	久保 信和	（小清水町）
	夕焼の地球どこかが焦げくさし	宮脇 木脩	（札幌市）
	海原の夕陽一点馬冷す	猪俣 総恵	（札幌市）
	しまひには夕陽掬はむ捕虫網	坪田 正光	（石狩市）

人位	捕虫網大き夕陽を捕らえけり	野村 信廣	（東京都）
	踏ん張りて転びて仔馬遂に立つ	西川 勝仙	（清水町）
	海難碑向きし沖より土用浪	久保 信和	（小清水町）
	夏の海沈みたがらぬ夕陽かな	佐藤 正文	（北広島市）
	からびたる浜の廃船夕焼けり	横山 冬青	（歌志内市）
	父の背に負はれ夕陽を追ひし夏	静間 典子	（稚内市）
	夕陽背に汗の野良着の塵はらう	北野 ミサオ	（訓子府町）
	漁師妻夏至の夕陽をまだ使ふ	遠藤 孝明	（日高町）
	朱夏の海夕陽呑みこむ大器かな	日下 久翁	（石狩市）
	鉄塔で夕陽見ている鴉の子	小林 昭子	（訓子府町）
	望郷の歌碑を染め抜く夕陽かな	阪口 桂香	（大阪府）
	廃校舎子らの声なく夕陽染む	弦巻 淳	（せたな町）
	石狩や夕陽浪立つ夏至の海	川平 康雄	（羽幌町）
	玫瑰や夕陽の砂丘ひと色に	加藤 弘美	（札幌市）
	一湾に灯をちりばめてキャンプ村	加藤 弘美	（札幌市）

※上記のほか、佳作 20 点を選出。

第10回こども俳句コンテスト

- ・対象者 市内小・中学生
- ・応募者（作品）数 2,871 句（13 小学校 1,924 名、8 中学校 947 名）
※前年度 2,485 句（13 小学校 1,634 名、8 中学校 851 名）
- ・兼題 自由題 ※1 人 1 句のみ
- ・選者 樋口 博 氏（石狩文芸同好会）、五十嵐 満行 氏（石狩憩吟社）、
小泉 澄子 氏（石の花俳句会）、笠原 泰江 氏（石の花俳句会）

【入賞作品】

①小学生・優秀賞（10 点）

お正月めんこであそぶ子どもたち	山本 悠斗	(花川小3年)
どんぐりはぼうしをかぶっておでかけだ	浅里 寧音	(生振小3年)
セミのこえあついあついときこえるひ	山本 竜馬	(生振小3年)
運動会おつかれさまと母の声	四家井 捺美	(南線小6年)
ぐらんどでてつぼうあそびたのしいな	大塚 るな	(紅南小1年)
どんぐりでアクセサリーを作ったよ	田村 涼風	(紅南小2年)
真夏の夜生まれた私真っ赤っか	附田 楽夏	(紅南小5年)
浴衣着てカタカタひびく下駄の音	樋口 優花	(紅南小5年)
にいちゃんとでっかいきわで泳ぐ海	野呂 亮太	(双葉小3年)
いとわろし宿題積もる夏期講習	高橋 優斗	(双葉小6年)

※上記のほか、佳作 20 点、努力賞 5 点を選出。

②中学生・優秀賞（10 点）

屋根の上猫と眺める星月夜	朝比奈 拓也	(石狩中1年)
友人と思い出作る夏の海	品田 健斗	(石狩中3年)
夏の夜空に輝く大三角	飯田 圭亮	(花川中2年)
湯につかり湯気の向こうに小雪舞う	井口 未悠	(花川中2年)
下敷きがうちわに変わる季節かな	藤堂 陽菜	(花川中3年)
映る影回っていくよ盆おどり	畠山 紗季	(花川南中3年)
初夢やいつも見るのは母の笑み	伊藤 星亜	(花川南中3年)
風にのり草刈り後の青くささ	坂井 優介	(花川南中3年)
静寂や時を止め降る雪の夜	伊藤 孝太	(樽川中3年)
湯豆腐を食べてほっこり暖まる	相田 惲太朗	(樽川中3年)

※上記のほか、佳作 20 点、努力賞 1 点を選出。